

## 【キューバ医療事情】

下記情報は当地報道を抄訳したものです。詳しくは原文をご参照下さい。

2月1日【el Nuevo Herald】

“キューバ西部に隕石が落下し、大きな爆発を引き起こす”

地元紙によるとピナル・デル・リオ県のビニャレス渓谷地域に落下した隕石によるいくつかの爆発が発生した。現在のところ死傷者の報告はない。

2月6日【Diario de Cuba】

“キューバは困窮しているチャドに医師養成費用を請求予定”

キューバ政府はアフリカの最貧国の1つであるチャドに対してキューバにおける医師養成のための1800万ドルの債務を請求予定である。報道によるとチャド政府は直ちに債務の50%を支払い、残り25%を2019年3月までに支払い、6月中旬までに債務を解決することにキューバと合意した。チャドの財務大臣は、支払い遅延はチャドの経済不況によるものであると言い、また約300人のチャドの学生がキューバの大学に留学していると述べた。

また報道機関によるとチャドには44人のキューバ人医師が働いている。

2月9日【Diario de Cuba】

“BioCubaFarmaは英国で臨床試験を希望”

キューバの製薬会社BioCubaFarmaと英国は、癌やその他の疾患に対するバイオテクノロジーや製薬分野で共同開発プロジェクトの可能性を模索している。

神経分野、腫瘍分野や糖尿病のキューバ製医薬品に英国が関心が寄せている。BioCubaFarmaは、キューバが特許を持つ医薬品の臨床研究のスポンサーとなる英国企業を探している。今週ロンドンで開催された世界会議にキューバ・ビジネス代表団が参加し、キューバで開発中のプロジェクトを紹介した。

キューバで生産される505の医薬品のうちBioCubaFarmaは499の医薬品に関わっている。

2月13日【el Nuevo Herald】

“仏領ギアナはキューバ人医師の雇用を求める”

仏領ギアナは医師不足のため、キューバ当局とキューバから医師を雇用する話し合いを始めた。これが実現すれば、仏領では初めの事となる。

ギアナの状況は極めて危機的で、医師不足解消のために病院に100人の医師を派遣を要請している。

2月21日【el Nuevo Herald】

“2018年、キューバでは交通事故により683人死亡”

国家交通安全委員会によると2018年10070件の交通事故がキューバで発生し、7730人が負傷し、683人が死亡した。2017年は11187件の交通事故が発生し、7999人が負傷し、750人が死亡した。2017年に比べ交通事故が1100件減り、死亡者が67人減少した。

交通事故死の29.4%、受傷者の14%が高齢者であった。

ハバナ県、マタンサス県、ビジャ・クララ県、カマグエイ県、オルギン県、サンティアゴ・デ・クーバ県は交通事故発生件数が多い県であった。

2月25日【CUBADEBATE】

“キューバはラテン・アメリカで最も健康な国で、米国を上まわる”

2019年公衆衛生指標によるとキューバは169ヶ国中30位であった。（2017年は31位）キューバはラテン・アメリカで最上位であり、第3世界の中で数少ない上位の国のひとつである。米国は5つ順位が下の35位であった。平均寿命、タバコ消費量や肥満のような様々な指標を用いて順位を決めている。

2月26日【Granma】

“キューバにおける人工内耳植え込みが500例”

18歳のカミラは若い頃から聴覚障害のため補聴器を使っていた。聴覚障害の悪化により補聴器では不十分となり、2月25日キューバで500例目の人工内耳植え込み術を受けた。術後、彼女の人生は大きく変わった。2005年に始まった人工内耳植え込みプログラムは公衆衛生システムの成果の1つである。同手術には最低でも1万6千ユーロはかかるが、キューバでは完全に無料で行っている。このプログラムは主にボラス・マルファン小児科病院で行っているが、ハバナではアメイヘイラス兄弟病院、ラ・パラデラ国際保健センター、国際神経回復センター、CIMEQ病院、ファン・マニヌエル・マルケス小児科病院が協力病院となっている。

2月27日【CUBADEBATE】

“サンティアゴ・デ・クーバで4つ子誕生”

3人の男の子と1人の女の子の幸せな誕生は、サンティアゴ・デ・クーバ県の母子保健プログラムにおける近年では最も重要な出来事となった。サンティアゴ・デ・クーバ県で4つ子の誕生は2回目。プライマリー・ヘルス・ケアの専門家のフォロー・アップが成功の裏付けとなった。26歳の母親は26週から産科病院に入院して、無料の栄養補助と専門的なケアを受けられ、とても感謝している。4つ子は出産時1000グラムを越えており、状態は安定しているが、特別な注意を払っている。退院後も自宅でそれぞれの新生児に対して看護師が看護予定。